

4 POSITION BACK STEP
SILVER/BLACK
for HONDA CBR250RR
Part No:51-02-01/51-02-01B



51-02-01/201708A

この度はオーヴァーレーシング製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の取り付けは、お買い上げ販売店様、または十分な取り付け技術のある方が行ってください。
また、締め付けトルク値や純正部品の取扱いはメーカー指定のサービスマニュアルに準じて行ってください。



お願い：
製品の取り付けに関するお電話での対応は非常に困難な場合がございます。
正確な取り付けとセッティングを行うために、車両と製品をお持ちになって知識と技術のある
オートバイ販売店様、またはお買い上げになった販売店様へまずはご相談ください。

- ご注意：
- ① 車両には個体差があります。取付けが困難な場合、周辺のボルトをゆるめ、グリスアップした後、再度取り付けを行ってください。
 - ② 指定車種以外への取り付けは行わないで下さい。
 - ③ 作業中はエンジンを必ず止めて、完全に冷めた状態で作業を行ってください。
 - ④ 仮組みを行い、取り付け位置の確認を行ってください。
 - ⑤ 走行前に各ボルトの締め付けを十分に確認してください。
 - ⑥ 装着後、リアブレーキの動作を確認してください。リアブレーキが引きずっていたり、ブレーキペダルの可動部が引っかかっていたりすると、ブレーキングに支障をきたす場合がございます。
 - ⑦ 正しい取付け、使い方などを守られない場合、商品の品質については保障しかねます。
また、当社は商品の品質についてのみ責任を負うものであり、それ以外のどのような事柄にも責任を負いません。

同梱パーツリスト

	サイズ	パーツ	Part	数/QT
①		右側Assy/一式	R Assy	1
②		左側Assy/一式	L Assy	1
③		ヒールガード 右/R	Foot Plate R	1
④	φ 25x φ 22x φ 8.2 L20	アルミカラー	Collar	2
⑤	φ 25x φ 22x φ 8.2 L15	アルミカラー	Collar	2
⑥	φ 14x φ 6.2 L8	アルミカラー	Collar	2
⑦	φ 14x φ 6.2 L5	アルミカラー	Collar	1
⑧		ブレーキスイッチホルダー	Brake Swith Holder	1
⑨	M8x35 P1.25	キャップボルト	Bolt, Cap	2
⑩	M8x30 P1.25	キャップボルト	Bolt, Cap	2
⑪	M6x25 P1.0	ボタンボルト	Bolt, Button	1
⑫	M6x10 P1.0	ボタンボルト	Bolt, Button	1
⑬	M6x25 P1.0	サラボルト	Bolt, Dish	2
⑭	M6	ロックナット	Nut	1
⑮	M6	ワッシャー	Washer	1
		保証書		1

* リストを参考に梱包内容をご確認ください。

取付方法

- 1 右側純正ステップを外します。
ブレーキマスターとブレーキスイッチは車体に残しておきます。
- 2 ①右側一式を車体に取り付けます。
④アルミカラー-L20と⑨M8x35キャップボルトを上下ともに使用します。
(図1参照)
- 3 ブレーキマスターシリンダーを取り付けます。
ブレーキマスターシリンダー先端のジョイントをブレーキペダルの
ブレーキマスターピンに差込み、純正割ピンで連結します。(図2参照)
ブレーキマスターは⑥アルミカラー-L8と⑬M6x25サラボルトで固定します。
(図1参照)

*リザーバータンクのホースがきつくなります。
ホースを折らないように取り回してください。

- 4 ③ヒールガードを取り付けます。(図3参照)

後側: ⑫M6xL10ボタンボルトで固定します。

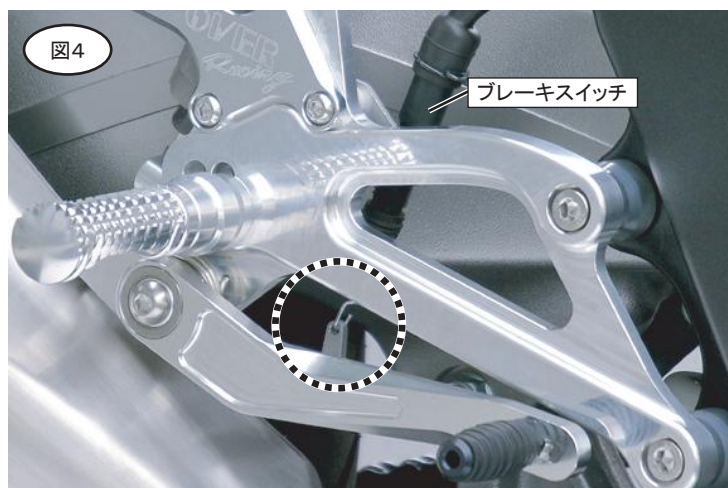
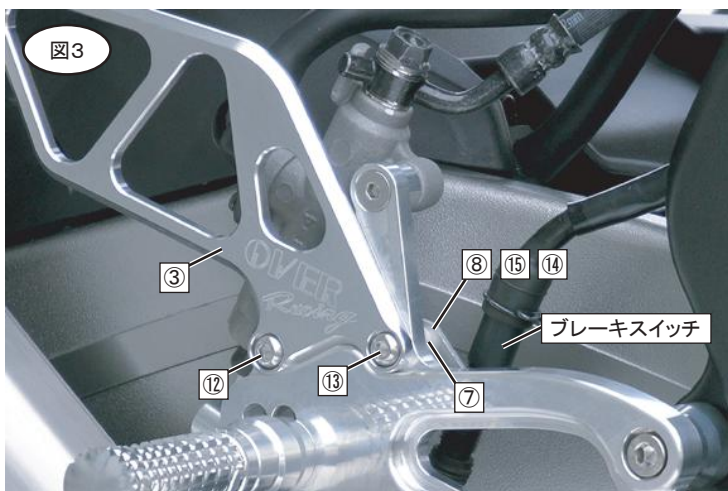
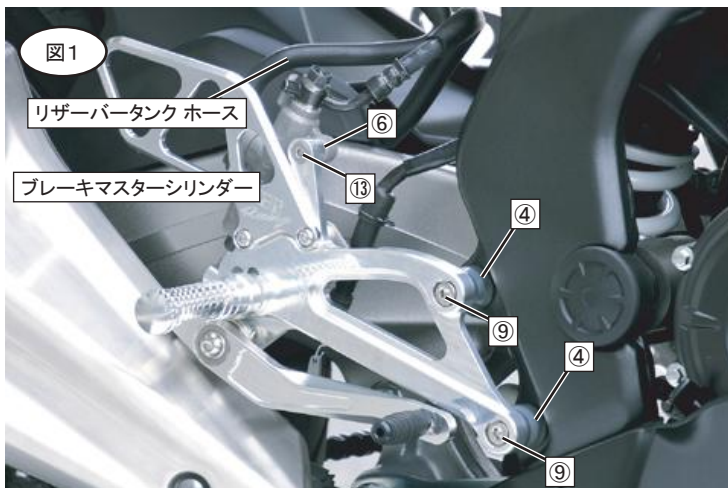
前側: ⑪M6xL25ボタンボルトを使用し、
ヒールガード内側に⑧ブレーキスイッチホルダーを
⑦アルミカラー-L5を挟み、⑮M6ワッシャー、
⑭M6ロックナットで共締めします。

- 5 純正ブレーキスイッチを取り付けます。
⑧ブレーキスイッチホルダーに純正ブレーキスイッチ本体を取り付け、
スプリングをブレーキペダル裏のステー(コの字)に掛けます。(図4参照)

*ブレーキスイッチの配線の取り回しがきつい場合、
フレームピボット部裏側の配線用クランプを外し、
ブレーキスイッチの配線をフリーにします。



- 6 ブレーキスイッチの動作を確認します。
ステーの位置でおおまかな位置出しを行い、スイッチ本体で微調整します。



7 左側純正ステップを取外します。

純正チェンジアーム、シフトロッドは車体に残しておきます。
アンダーカウルを外した方が作業が行ないやすくなります。

8 ②左側一式を車体に取り付けます。(図5参照)

⑤アルミカラー-L15と⑩M8x30キャップボルトを上下ともに使用します。

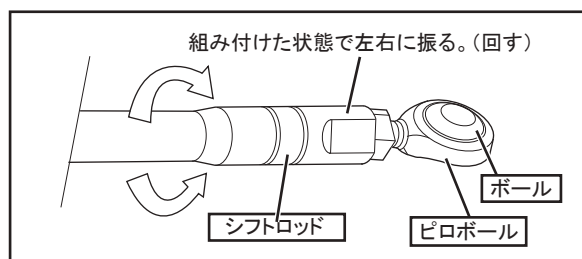
9 純正シフトロッドをピロボールと連結します。(図6参照)

* 組付け後、ボールが固定されている状態でシフトロッドを
左右に振り、ピロボール本体が滑らかに動くことを
確認してください。
ピロボールがロックした状態で使用した場合、ピロボールが
破損する恐れがあります。

10 チェンジペダルの高さを調整します。

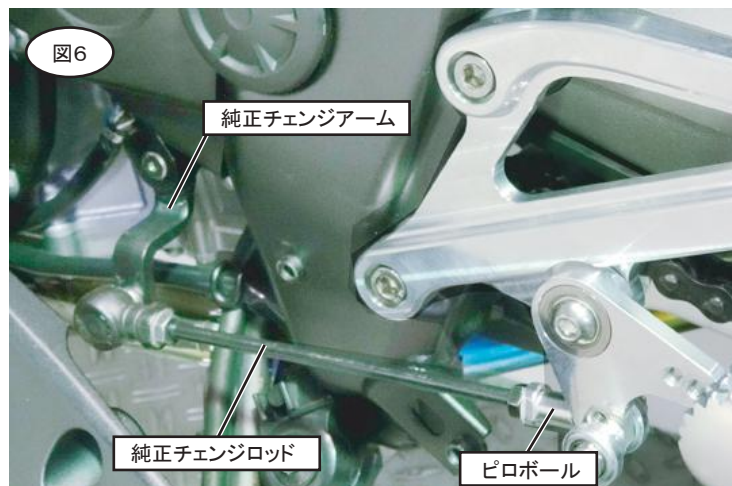
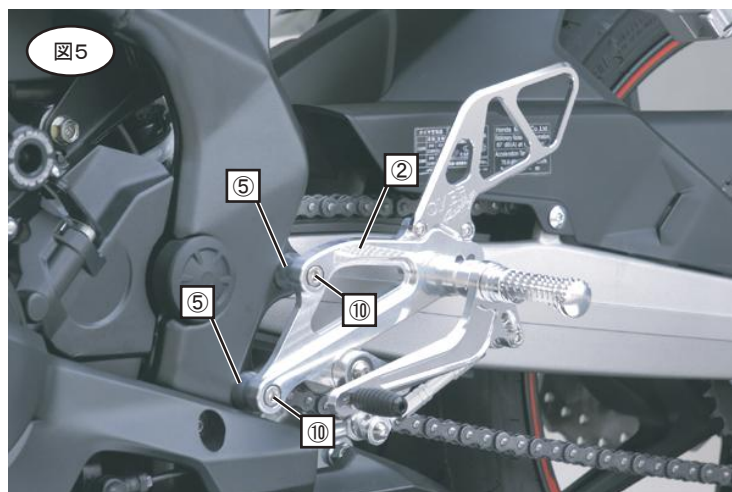
シフトロッドを回転させてペダルの高さを調整し、
両サイドのナットで固定します。

* 各ネジ部が6mm以上差し込まれていることを確認してください。
それ以下で使用した場合、破損や脱落の原因となりますので、
ご注意ください。



11 各部干渉が無いか確認の上、本締めします。

12 各ペダルの高さ、リアブレーキ、ブレーキスイッチの動作を
再度確認します。特にブレーキ周りの取り付け不良は重大事故に
つながる恐れがありますので十分に確認を行ってください。



左側	②③	④60mmバック/65mmアップ
	③	③60mmバック/75mmアップ
	①④	②50mmバック/75mmアップ
	①	①50mmバック/65mmアップ

ステップバーの位置により4箇所、ペダルバーの位置により3箇所から
ポジションを選択/変更することができます。

ポジションの変更の都度、ペダルの高さを調整してください。